

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
芸術・音楽Ⅰ	1	2	高校生の音楽 ①	なし
科目の概要と目標	「歌唱」「表現」「鑑賞」の領域を総合的に学習することにより、音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。			
単元	学習内容	到達度目標		
・音楽を楽しむ	<ul style="list-style-type: none"> ・「ダニー・ケイとニューヨーク・フィル」 ・ポップスと芸術歌曲 	<ul style="list-style-type: none"> ・とにかく堅苦しく感じるオーケストラのコンサートを、アメリカの有脳なコメディアンがユニークで俊英な指揮をして、リラックスしたコンサートに仕立て上げているものを楽しむ。 ・ポピュラーな日本の歌を楽しんで歌ったり、欧米の芸術歌曲を表情豊かに表現できる。 		
・名曲鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ・ドイツ・フランス・イタリアの名曲 	<ul style="list-style-type: none"> ・バッハやワーグナー、ラヴェルやプッチーニの名曲に親しみ、表現力を培ったり感性を磨く機会とする。 		
・音楽理論	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な楽典の基礎知識 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽の基礎知識を理解することができる。 		
・ミュージカルに親しむ	<ul style="list-style-type: none"> ・劇音楽の世界 	<ul style="list-style-type: none"> ・表現の多様性を味わいながら、興味を持って鑑賞することができる。 		
・ポピュラー音楽を楽しむ	<ul style="list-style-type: none"> ・ポピュラーソングの合唱・斉唱 	<ul style="list-style-type: none"> ・各楽曲の内容にふさわしい表現を工夫しながら、楽しく歌うことができる。 		
・北中米の音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・世界（北中米）の音楽（器楽） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ラテン系の音楽を鑑賞する。その独特のリズムを、リコーダーや打楽器を使って体感することができる。 		
・音楽史	<ul style="list-style-type: none"> ・古代～中世・バロック・古典派・ロマン派の音楽 	<ul style="list-style-type: none"> ・LD・CDなどの映像音響再生教材を使用し、西洋音楽の歴史や演奏様式を理解することができる。 ・年代順に西洋音楽の特徴をつかみ、各時代の作曲家に対する知識を深め、様々な音楽形態を理解することができる。 ・それぞれの時代の、音楽の特徴をの違いを感じ取ることができる。 		
・西欧・東欧の音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱と鑑賞 	<ul style="list-style-type: none"> ・西欧・東欧の歌曲を歌唱し代表的な楽曲を鑑賞することにより、独特な文化を感じ取ることができる。 		
・北欧の音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱と鑑賞 	<ul style="list-style-type: none"> ・北欧の音楽に興味を持って歌唱したり鑑賞したりできる。 		
・日本の音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の伝統音楽の歴史と鑑賞 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の伝統的な芸術に触れ、その多様な音楽を理解し、改めて日本文化の良さや美しさを味わうことができる。 		